

# 平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年10月31日記入

基本目標	ゆとりある みどり豊かな環境共生都市をめざして	施策コード	22420
政策名(章)	第2章 水やみどりの保全と創造に努めます	評価担当部	環境保全部
基本施策名(節名)	第4節 魅力ある公園づくり	評価担当課	公園課
施策名	地域の特性を生かした公園の整備	課長名	大房 薫

## 1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

自然環境や貴重な遺跡を保全することや、立地特性を生かした公園の整備を推進する。  
平成11年に国指定の遺跡となった史跡田名向原遺跡を保全した歴史公園の整備や、広域交流拠点である橋本駅に近く、若者が集うニュースポーツ施設を配置した小山公園の整備などを計画的に進める。

## 2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		1,231,104	用地購入事業(小山公園、史跡田名向原遺跡公園)が構成事務事業に加わったため。
人件費		14,490	
市民一人あたりの事業費	125	1,868	
合計	77,228	1,245,594	

\*人件費は、職員一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

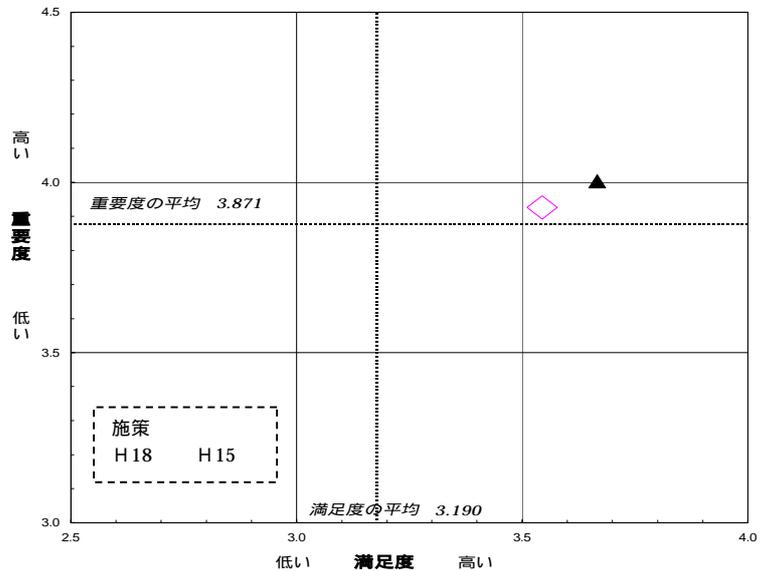
## 3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	近隣公園の整備面積	整備計画面積(4ha)のうちの整備面積(小山公園・テクノパイル田名公園)	0%	H15
指標2	歴史公園の整備面積	整備計画面積(0.82ha)のうちの整備面積(史跡田名向原遺跡公園)	0%	H16
指標3				
指標4				
指標5				

	H17目標値/実績値	中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)
指標1	2.37 / 2.37	19	4 ha 100%			平成16年度から平成19年度までに小山公園・テクノパイル田名公園を整備する。
達成率	100%					
指標2	0.21 / 0.21	19	0.42 ha 51%	20	0.82 ha 100%	平成17年度から平成20年度までに段階的に整備し、全面供用する。
達成率	100%					
指標3						
指標4						
達成率	#DIV/0! %					
指標5						
達成率	#DIV/0! %					

## 4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.544で51施策の中で1番目。  
 重要度は3.927で23番目である。  
 改善要望度は - 0.2113で40番目である。  
 年齢別にみると、満足度、重要度ともに70歳以上で高く、30、40歳代で低くなっている。  
 前回調査と比較すると、満足度、重要度とも施策の順位に大きな違いはみられない。  
 満足度の順位では、ほとどの年代も1位となっている。  
 重要度の順位では、40、50歳代で前回調査より上がり、60歳代で大幅に下がっている。



## 5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的根拠	
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4②1	平成11年に国指定の遺跡となった貴重な史跡田名向原遺跡を保全する歴史公園の整備事業や、平成17年5月に実施した市民アンケートや若者とのワークショップにより配置計画づくりを行ったニュースポーツ施設を配置した小山公園の整備などを計画どおりに進めている。	
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	4②1	小山公園は、平成16年度から新設されたまちづくり交付金を導入し、従来の都市公園補助制度よりも高率な補助割合で用地を買戻したほか、整備工事においてもまちづくり交付金を導入した。田名向原遺跡には国庫補助の史跡等総合整備活用推進事業費補助金のほか県費補助金も導入し、特定財源の確保に努めた。	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	④21	市民満足度調査では、平成15年度に引き続き満足度第1位となっており、さらに魅力ある公園づくりが期待されている。	
合計		8	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下)	1次評価 B

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

## 6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	小山公園や史跡田名向原遺跡公園の整備は順調に進んでいるが、勝坂遺跡公園や津久井地域を含む今後の地域レベルでの計画的な公園の整備が課題となっている。
解決策	勝坂遺跡公園の早期事業化と、地区公園や近隣公園など地域の拠点となる公園の配置方針を策定する。

## 7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

設定された指標の目標値の水準が甘く高評価となっている。事業の結果だけではなく、整備済公園面積や来訪者の推移、来訪者アンケートの実施など、施策目的に適合した指標の設定を検討する必要がある。 今後は、合併後の施策のあり方等を考慮した中で、市民ニーズに即した効率的・効果的な事業の推進を図る必要がある。	2次評価 B
---	-----------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

## 8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価
--	------

\* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向



